

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	ホーム内の防災訓練は定期的に行っており、地域の防災訓練にも入居者とともに参加して、地域との交流は行っている。しかし、夜間などの非常時の際に近隣の方との協力体制が整っていない。	特に夜間など職員の人数が少ない時間帯の非常時の際に、非難誘導後の入居者の保護など、近隣との協力体制を整える。	①総会への出席を継続 ②町内会長へ協力の相談と依頼(応じてもらえた場合) ③協力体制依頼の具体的な内容を提示 ④町内会とともに内容の検討 ⑤実施	12ヶ月
2	2	入居者の生活必需品など、出来る限り地域の商店街や商店を利用しているが、認知症と入居者への理解を深めるまでには至っていない。	今後地域との交流を続ける中で、認知症と入居者への理解が深められるよう、意識して活動する。	①総会への出席を継続 ②継続的なボランティアの受け入れ ③こどもたちに対しての協力体制の検討(例えば『こども110番』などの協力を受けるなど) ④地域のクリーン作戦への入居者の参加	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。